

令和6年度 木とふれあう環境づくり推進事業

令和6年度の助成状況について、一部ご紹介します！！

◆木育環境の整備

★紹介1：木製テーブル，木製イス，木製玩具（積み木）（鹿児島市）

●事業主体

株式会社ユトリ ゆとりななやしろのもり保育園・ゆとりのもり

●助成額

760,000円

●木材使用量

0.45m³

●整備の概要

木育インストラクターが営む工務店と連携して、製作過程や木の特徴について学びながら木製テーブル，木製イスや，積み木として遊べる木製玩具を整備しました。

それらを活用し，木製品とのふれあいを通じて，木材への親しみなどを学ぶ「木育」に積極的に取り組んでいます。



木製テーブル



木製イス



木製玩具



木製玩具

◆木造施設等の整備（施設の整備）

★紹介2：保育室3部屋の内装木質化（鹿児島市）

●事業主体

社会福祉法人星愛福祉会 星の子保育園

●助成額

1,872,000円

●木材使用量

2.58m³

●整備の概要

木のしつらえによって作られた保育環境で五感を磨き、心豊かな人生を過ごしてもらいたいとの思いから、保育室3部屋の内装木質化が行われました。

施設は、県産材の杉をふんだんに使用し、デザイン壁を取り入れた内装となっています。園児だけでなく、保護者や保育者も木材の香りからのリラックス効果による心の癒しを感じていただける環境を提供し、子育ての活力となることを期待しています。



保育室



★紹介3：シーサイドビレッジミカサ管理棟 （現：コースタルパークリトリート管理棟）（阿久根市）

●事業主体

シーサイドビレッジミカサ(現：コースタルパークリトリート)

●助成額

4,976,000円

●木材使用量

15.00m³

●整備の概要

施設利用者が木材の風合いの良さを感じるなど、木造施設等の普及につながるキャンプ場の管理棟が整備されました。

当施設は、県産材をふんだんに利用するとともに、内装だけでなく外観についても木材を活用したデザインとなっています。また、木造建築の断熱性・吸湿性の長所を生かして来場者が快適に過ごすことのできる空間となっています

キャンプ場の管理棟としての活用だけでなく、自然保護教育の場に活用される予定です。



管理棟



◆木造施設等の整備（製品の設置）

★紹介4：収納倉庫付きウッドデッキとターザンロープ（日置市）

●事業主体

社会福祉法人清光福祉会 永吉保育園

●助成額

1,493,000円

●木材使用量

3.51m³

●整備の概要

かごしま材をふんだんに使用し、木を身近に感じ、木の香り・模様・色合い・触感など、様々な発見を通じて遊ぶことができる収納倉庫付きウッドデッキとターザンロープが整備されました。

今後は、他の保育園との交流を行い、整備保育園に通園している子以外にも県産材の遊具に触れる機会を設ける予定です。



収納倉庫付きウッドデッキ



ターザンロープ

◆木製品の開発及び普及（一般枠）

★紹介5：木製コンポスト「ネゴナッター」（鹿屋市）

●事業主体

労働者協同組合労協センター事業団 大隅地域福祉事業所ゆらおう

●助成額

800,000円

●開発の概要

生ゴミを減らすため、組立式木製コンポスト「ネゴナッター」が開発されました。

ネジや釘無しで組立が可能な製品となっており、子どもたちでも簡単に組み立てることができます。材料には南大隅で生産されたスギ材を使用し、生ゴミ堆肥化の元となる資材にも大崎町で生産された竹と大隅半島で生産された米ぬかを用いており、地域内自給循環を可能としています。



組立の様子



木製コンポスト